

時代を読み解く

シリーズ 46

混乱期ロシアと

「超大統領制」

1991年12月のソ連解
体により、ロシア国内の政治・経済・社会情勢は急速
に不安化した。

新生ロシアの初代大統領

となったエリツィンは、自
らを支える政権の構築に失敗し、95年の国家議下
院選挙では、ロシア連邦

共産党が第1党となり、翌

96年の大統領選では共産党
のジューガーノフ候補と接戦央政界に入ったプーチン
は、地方政治を担当する大
統領府次官兼監督総局長、
連邦保安庁長官、安全保障
会議書記、首相、大統領臨
時代行と4年もかからずに
ロシアの最高指導者の地位
を手に入れた。巧みな政権人事と制度改
革に象徴される政治手腕、
そして経済成長という外部
から観察可能なプロセスを
経て、いわゆる「プーチン
体制」が構築された。選挙では選挙不正も報じら
れ、反プーチンの流れを後
押しした。政権の汚職問題
に対する不満も爆発した。
社会不満抑える
統制と軍事行動22年2月24日に始まる
「特別軍事作戦」は、最も
近いところでは14年のクリ
ミア占領を含むウクライナ
侵攻を起点としている。析」では、大統領令や連邦
法律といった法令に定めら
れた規範的文書、人事発令
の分析を通じて、執行権力
優位の統治機構の成り立ち
について論じた。必要な資
料は可能な限り読み込んだ
が、網羅的に精読できたとい
う自信はない。刊行後も
ロシアらしく様々な制度変
更が実施されている。

プーチンのロシア

巧みな政権人事・手腕で体制構築

ち込まれるなど、「弱い」
大統領として描かれること
が多い。プーチン政権では、中央集権
化政策を推し進めるなど、
政治改革に注力し、大統領
を支える全国規模の政党「統一ロシア」を築いた。
こうした上からの改革は時
に反発を招く。しかし、国
際的な原油価格の高騰と結
びついたロシアの高度経済成長がプーチンの政治改革
を強力に後押しした。リンを離れ、連邦政府（内
閣）の入る庁舎、ペルーリ
ン・ドームに勤務した。12年7月には非営利団体
を「外国エージェント」に
指定する連邦法改正が実施
され、後に指定対象は個人
やメディアに拡大した。体

今月の講師

はせがわ たけゆき
長谷川 雄之氏

防衛研究所地域研究部

米欧ロシア研究室 主任研究官

1988（昭和63）年生まれ、宮城県出身。上智大学外
国語学部ロシア語学科卒業、東北大学大学院文学研究
科歴史科学専攻博士後期課程修了。博士（学術）。日
本学術振興会特別研究員P D、広島市立大学広島平和
研究所協力研究員などを経て、2018年から防衛研究所。
専門は現代ロシア政治・安全保障研究、ロシア地域研
究。主な業績として、共著『現代ロシア政治』（法律
文化社、23年）、単著『ロシア大統領権力の制度分析』
（慶應義塾大学出版会、25年）などがある。96年8月、大統領府総務
局長としてモスクワの中びついたロシアの高度経済
成長がプーチンの政治改革
を強力に後押しした。は、彼の出馬は必ずしも欲
迎されず、反プーチン・デモ
鎮圧する国家親衛軍も16年4月に内務省国内軍を暴動
が活発化した。12月の下院テーマをさらに深掘り
「防研セミナーブリーフィング」執筆者の長谷川主任研究
官が今回のテーマをさらに
深掘りして解説し、防衛省
職員と突っ込んだ議論を行
う「防研セミナーブリーフ
ィング」が11月28日（金）午
後3時～4時まで、市ヶ谷
のF1棟6階「国際会議場」
で開かれます。参加者・聴
講者は隊員に限定します。
ご興味ある方は奮ってご参
加ください。▽問い合わせ
＝防研企画調整課03-3268
-3111（内線29177）まで。